

症 状		考えられる原因	処 置
人がいないのに点灯してる。		電源をONにした。	電源をONにした直後は電球が点灯⇔消灯します。約1分後に設定したモードで動作します。
	夜	「動作設定」スイッチが調光又は6hタイマーに設定してある。	暗くなると点灯します。「5ページ」を参照ください。
		検知エリア内に木や水面などがある。	人以外の熱源を検知しセンサーが動作することがあります。
		検知エリア内にペットなど動物がいる。	
		検知エリア内に雨が入っている。	検知範囲を調整するか熱源を取り除いてください。
検知エリアに人がいるのに消灯した。	夜	検知エリア内で動かなかった。	検知エリア内にいても動きがない場合にはセンサーが反応しません。動くと点灯します。
		電球が切れた。	壁スイッチ(電源)をOFFにしてから新しい電球に交換してください。
		周りが明るくなった。	周りが明るくなると消灯します。

●なお、対策を行っても同じ現象が続く場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式(器具銘板に表示してあります。)、現象を連絡のうえ、ご相談ください。

保守とお手入れ 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

<p>■お手入れの際や、電球の交換の際は、必ず電源を切る。</p> <p><b>必ず守る</b></p> <p><b>！</b></p> <p>OFF</p> <p>*電源を切らないと感電の原因となります。</p>	<p>■器具のお手入れ</p> <p><b>必ず守る</b></p> <p><b>！</b></p> <p>●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。</p> <p>●センサーが汚れていると誤動作したり動作しない場合があるので、定期的に掃除をする。</p>	<p>■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。</p> <p><b>禁止</b></p> <p><b>！</b></p> <p>みがき粉 ベンジンなど揮発性のもの 合成洗剤 ぞうきん 熱湯 殺虫剤</p> <p>*割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。</p>
<p>■点灯時及び消灯直後は、電球が非常に熱くなっているので、触らない。</p> <p><b>！</b></p> <p>熱い危険</p> <p>接触禁止</p> <p>*やけどの原因となります。</p>	<p>■必ず指定の電球を使用する。</p> <p><b>必ず守る</b></p> <p><b>！</b></p> <p>日立 ミニクリプトン 電球 60W まで</p> <p>*指定以外の電球を使用しますと、器具の異常過熱の原因になります。</p>	

お客様メモ		後日のために記入しておいてください。 サービスを依頼されるときにお役にたちます。	
購入店名	電話		
ご購入年月日	年	月	日

日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

取扱説明書

日立白熱灯器具

HITACHI  
Inspire the Next

保存用

人検知センサーつき  
ポーチライト

LBW6637H [防雨形]


このたびは日立白熱灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。


安全上のご注意

警告


- このような場所には、取り付けない。(この器具は壁付け専用です。)




禁止



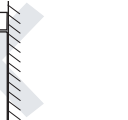
横向き  
取り付け



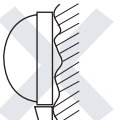
傾斜面  
取り付け




取り付け  
方向が上下逆



取り付け  
面が凸凹



取り付け  
面がせまい



湿気の多い所

\*防水性能が保てなくなり、火災・感電の原因となります。

- 器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼する。  
\*取り付けに不備がある場合は、火災・感電の原因となります。
- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業する。  
\*アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。  
\*火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。  
\*感電・故障の原因となります。
- 器具に布や紙・ポリ袋などをかけない。  
\*過熱し、火災の原因となります。

注意


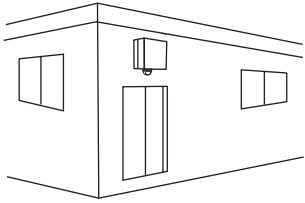
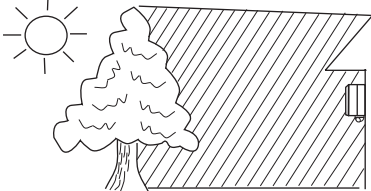
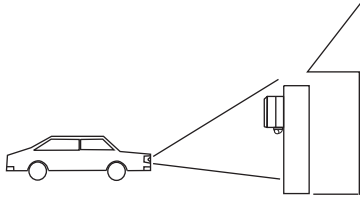
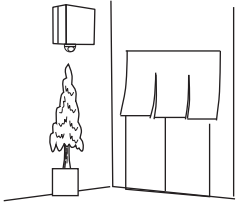
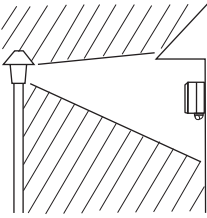
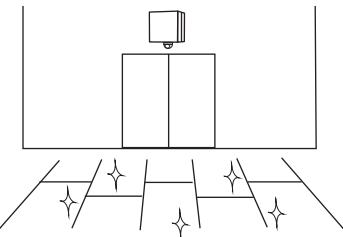
- 定格電圧交流100V以外で使用しない。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- 必ず指定の電球を使用する。  
\*器具の異常過熱の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は電球が熱くなっているので触らない。  
\*やけどの原因となります。
- お手入れの際や、電球交換の際は、必ず電源を切る。  
\*電源を切らないと感電の原因となります。
- 器具の真下にストーブなどを置かない。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- 浴室など湿気の多い場所や常時温度の高い場所(35℃以上)では、使用しない。  
\*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与えない。  
\*器具の落下によるけがの原因となります。



器具を取り付ける前に

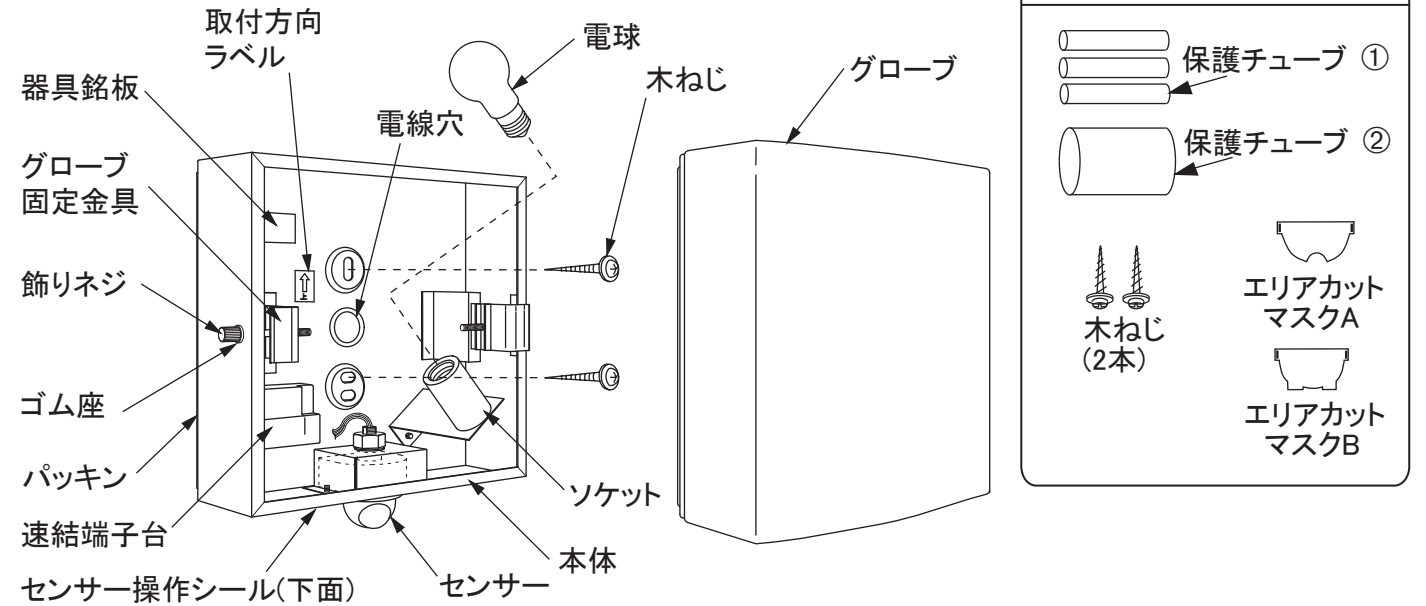
- 器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。
- 一つの壁スイッチには1台でご使用ください。(一つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)

- 器具は検知エリアを考慮して設置ください。
- 器具取り付け高さは2m以内に設置してください。
- センサー正面に向かって人が近づくような位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。
- センサーの特性上、検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。
- 器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁等から1.5m以上離して取り付けるかもしくは器具の取り付け方向を調整してください。
- 次のような場所には、取り付けない。(誤動作したり、動作しない場合があります。)

 禁止	取り付け高さが2m以上になる場所 	昼間でも暗い場所(木かげ、ひさしの下など) 	車のヘッドライトなどの強い光が当たる場所 
	検知エリア内に風などで揺れるのれんや植物などがある場所 	夜間でも明るい場所(他の照明の光がセンサーに当たる場所) 	大理石などの反射の強い床面がある場所 

各部の名称 図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。

- 下図を参照して各部品をお確かめください。



仕様

形 式	定格電圧	消費電力	適合ランプ
60Wx1	交流100V	60W	ホワイトミニクリプトン電球 60W(口金:E17)

アフターサービス

- もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下表にしたがってお調べください。

症 状	考えられる原因	処 置
人が近づいても点灯しない。	電球が切れている。	壁スイッチ(電源)をOFFにしてから新しい電球に交換してください。
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	センサーの表面が汚れている。	柔らかい布で汚れを落としてください。
	厚手の服を着ている。	センサーは熱に反応するため厚手の服に体温が閉じ込められ反応しない場合があります。
	センサーに周りの照明器具の光が入っている。	センサーの検知部に光が入らないようにしてください。
	器具に向かってまっすぐ進んでいる。	センサーの正面に向かって近づくと検知しにくい場合があります。センサーの検知部を少しづらしてください。
	電源配線(接続)が正しく行われてない。	お買い上げの販売店・工事店等に依頼してください。
	壁スイッチ(電源)が故障している。	お買い上げの販売店・工事店等に依頼してください。
夕方	点灯照度スイッチが「暗」になっている。	暗くならないと点灯(動作)しないようになっています。スイッチを「明」にしてください。
点灯したまま消灯しない。	連続点灯モードになっている。「6ページ」をご参照ください。	壁スイッチをOFFにして4秒以上たってからONにしてください。
	激しい雨が降っている。	センサーレンズについた水滴を感知して点灯する場合があります。
	検知エリア内に雨が入っている。	検知部を回転させ調整するかエリアカットマスクでエリアを狭くしてください。「4ページ」を参照ください。
	「動作設定」スイッチが調光又は6hタイマーに設定してある。	暗くなると点灯します。「5ページ」を参照ください。
	昼間でも周囲が暗い。「4ページ」をご参照ください。	昼間でも周囲が暗い場合はセンサーが夜と認識して点灯することがあります。
昼	「動作設定」スイッチが6hタイマーに設定してある。	センサーが動作し、6時間は周囲の明るさに関係なくセンサーが動作します。「5ページ」をご参照ください。

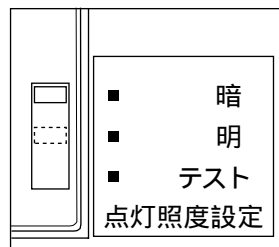


## 設定方法

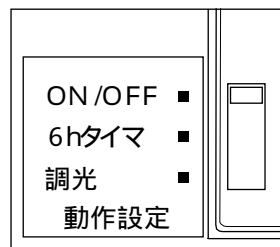
センサー側面の動作設定スイッチを調整することにより3つのモードに切り替えることができます。  
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。

### ON-OFFモード

1センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」にしてください。



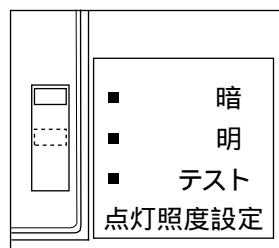
2センサー「動作設定」のスイッチを「ON/OFF」にしてください。



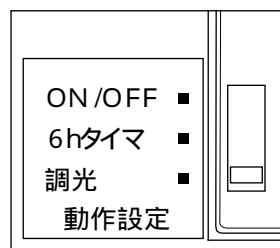
壁スイッチONにした直後は電球が点灯 消灯になりますが故障ではありません。  
約 1分後に設定したモードで動作します。

### 調光モード

1センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」にしてください。



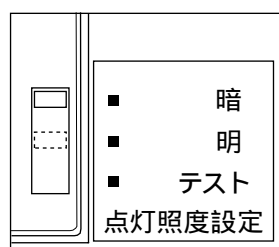
2センサー「動作設定」のスイッチを「調光」にしてください。



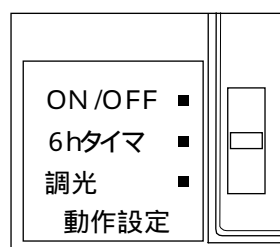
壁スイッチONにした直後は電球が点灯 消灯になりますが故障ではありません。  
約 1分後に設定したモードで動作します。

### 6時間タイマーモード

1センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」にしてください。



2センサー「動作設定」のスイッチを「6hタイマー」にしてください。



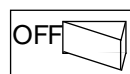
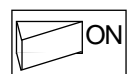
壁スイッチONにした直後は電球が点灯 消灯になりますが故障ではありません。  
約 1分後に設定したモードで動作します。

### 連続点灯

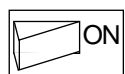
壁スイッチを操作すると周囲の明るさ、人の検知に関係なく点灯させておくことができます。

1壁スイッチを一度OFFさせて

2すばやくONにする (100%点灯になる)

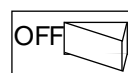


約 2秒以内にON

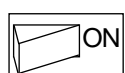


約 8時間たつと消灯し元の設定モードにもどる

連続点灯を解除する時又は、連続点灯中にセンサー待機状態に切り替える場合は、OFFにして4秒以上たってからONにする。



約 4秒以上たってから

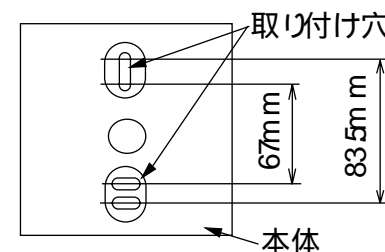


\*「ON直後は電球が点灯 消灯になりますが故障ではありません。  
約 1分後に設定したモードで動作します。

## 器具の取り付けかた

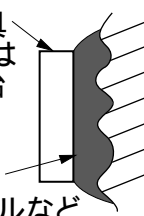
必ず電源を切ってから作業してください。

各部の名称を参照して、器具を取り付けてください。



必ず守る

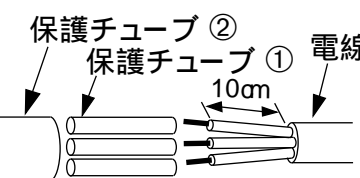
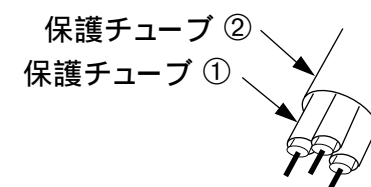
取り付け面に凸凹がある場合は、防水性能を保つため、防水シールなどで器具または、木台の取り付け面とのすき間を埋める。



- 器具は、本体の取り付け穴を使用して、付属の木ねじ2本で補強材のある所に取り付けてください。

(1) 飾りネジをゆるめて本体からグローブを取りはずした後、ソケットから電球を取りはずし、本体の電線穴に電線を通し、取り付け方向ラベルに従い付属の木ねじ2本で補強材のある所に取り付けてください。

(2) 必ず、電線およびアース線に保護チューブ①、②を 下図のようにかぶせてください。



(3) 電線とアース線を速結端子台に接続してください。

接続のしかた	解除のしかた
<p>電線をゲージに合わせ段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。</p> <p>●適用電線 16単線 20単線</p> <p>アースは、必ずお取り扱いください。 * アース線の接続が不完全な場合、感電の原因になります。</p>	<p>電線ははずす場合、ドライバーで電線はずしボタンを強く押し、電線を引き抜いてください。 (アース線は、電線はずし穴に ⊖ドライバーを強く差し込み、引き抜いてください。)</p> <p>⊕⊖使用可)</p>

(4) 電球をソケットに取り付けた後、点灯確認してください。

(5) グローブを本体に合わせ、飾りネジを締めてグローブ固定金具によりグローブを押さえ込み取付けます。



取り付きましたら、グローブを軽くひっぱり、確実に取り付けられているかお確かめください。

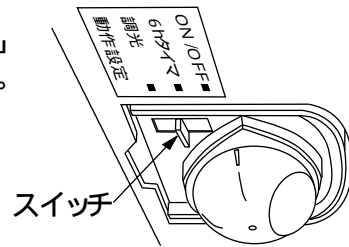


## センサーの名称

センサーの側面の動作設定スイッチを調整することにより3つのモードに切り替えることができます。

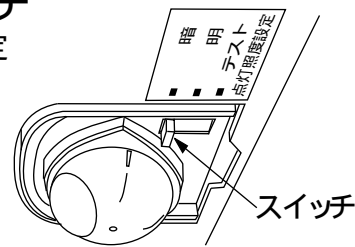
### 動作スイッチ

出荷時は「6hタイマ」に設定してあります。



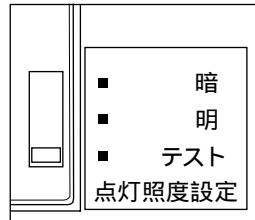
### 点灯照度スイッチ

出荷時は「暗」に設定してあります。



### 設置後検知エリアを決める。テストモード

1センサー「点灯照度設定」のスイッチを「テスト」に合わせます。



周囲が明るい時でも、人を検知するたびに、約5秒間全光点灯します。器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。

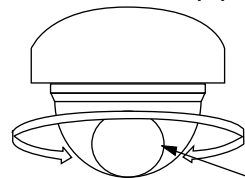
2壁スイッチを「ON」にします。

\*どのモードでも「ON」直後は電球が点灯 消灯になりますが故障ではありません。

約1分後にテストモードで動作します。

3センサーの検知部を動かして位置を決めてください。

センサー正面

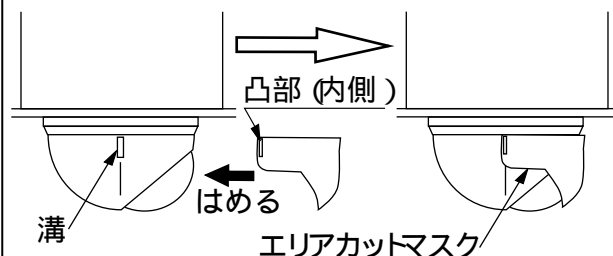


左右約150°可動

検知部は左右150°回転します。検知エリア内に道路などがある場合には、エリアカットマスクを取り付けて検知範囲を調整してください。

### エリアカットマスクの取り付けかた

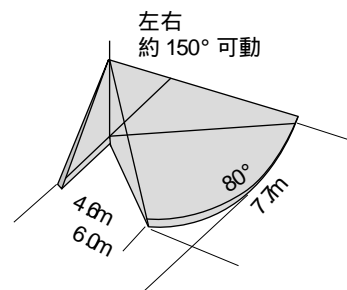
付属のエリアカットマスクの内側の凸部をセンサー受光部側面にある溝にはめてください。



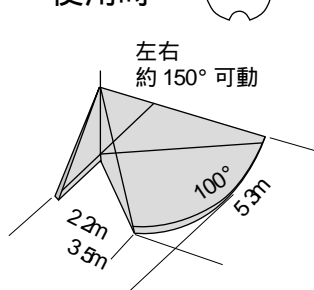
エリアカットマスクを取り付けることにより検知エリアを狭くすることができます。

### センサーの検知範囲 (取り付け高さ2.0m)

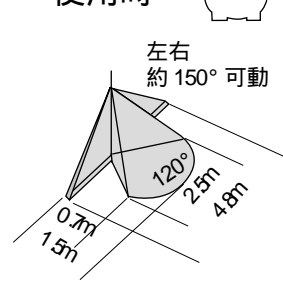
エリアカットマスクなし



エリアカットマスクA 使用時



エリアカットマスクB 使用時



(ご注意) 検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)

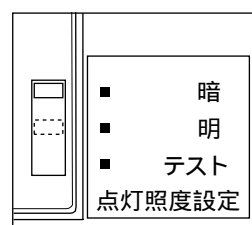
4点灯させる周囲の明るさを選択します。

「暗」 約15レクスから点灯します。(目安 陽が沈んだころ)

「明」 約45レクスから点灯します。(目安 陽が沈みかけたころ)

点灯照度は器具を取り付けられる周囲の明るさによって調整してください。

設定方法に進んでください。「6ページ」をご覧ください。

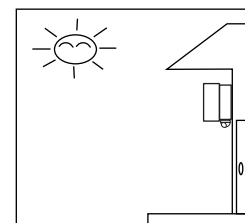


## センサー機能について

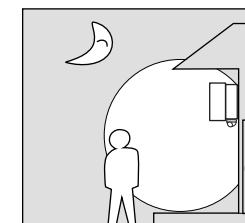
センサーの側面の動作設定スイッチを調整することにより3つのモードに切り替えることができます。又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。設定方法は「6ページ」をご参照ください。

### ON-OFFモード 人が近づいた時だけ明るくしたい

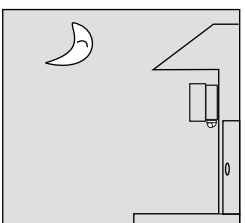
日中は消灯



暗くなって人が近づくと100%の明るさで点灯

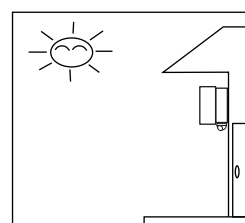


人が居なくなると約60秒で消灯

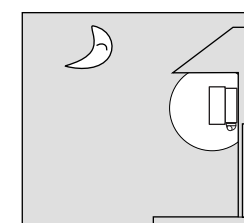


### 調光モード 一晩中ほんのり点灯して人が近づいた時だけ明るくしたい

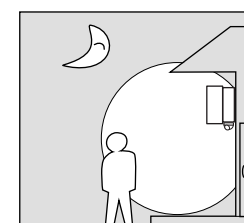
日中は消灯



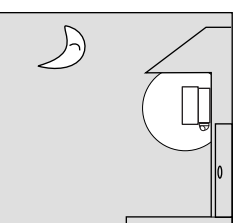
暗くなると20%の明るさで点灯



人が近づくと100%の明るさで点灯

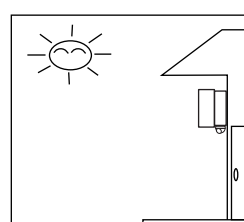


人が居なくなると約60秒で20%の明るさで点灯

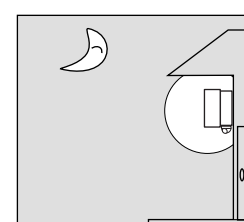


### 8時間タイマーモード 一晩中ほんのり点灯はもったいない

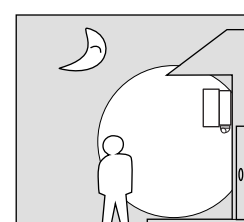
日中は消灯



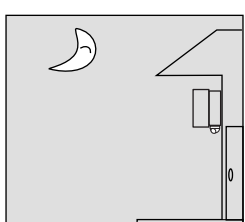
暗くなると20%の明るさで点灯



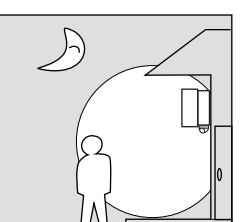
人が近づくと100%の明るさで点灯



8時間後は消灯しON-OFFモードに



人が近づくと100%の明るさで点灯

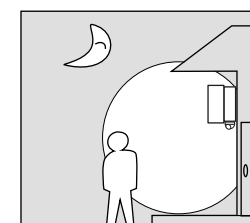


\*周囲が暗くなってセンサーが動作すると、8時間は周囲の明るさに関係なくセンサーが動作します。(明るくなくても消灯しません。)解除したい場合は、電源をOFFにするか、センサーのモードを変更してください。

### 連続点灯 人がいなくてもずっと点灯してほしい

壁スイッチを操作して点灯させておくことができます。

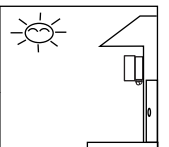
100%点灯



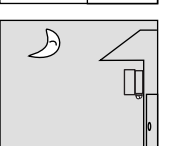
約8時間たつと元の設定モードにもどる

明るい時

どのモードでも日中は消灯



ON-OFFモードに設定している時



暗い時

調光、8時間タイマーモードに設定している時

